

## 平成27年度 第3回 静岡市スポーツ推進審議会会議録

- 1 日 時 平成28年2月18日（木）15時から17時まで
- 2 場 所 静岡市役所清水庁舎 3階 302会議室
- 3 出席者 **【委員】**（50音順・敬称略）  
池谷孝、北川知美、笹本とよ子、鳴海恵理子、松崎晃、松下茂、村越真、  
村田真一、百瀬容美子、山本尚佳  
**【事務局】**  
（スポーツ振興課）  
鈴木達也参事兼課長補佐、高須修主幹兼スポーツツーリズム推進係長、  
望月啓生主幹兼葵・駿河施設係長、本間万起子主査  
（シティプロモーション課）  
秋山健ホームタウン推進担当課長、望月哲也主幹兼ホームタウン推進係長
- 4 欠席者 青木秀剛、太田仁美、片岡佳美、熊谷正泰、笹村直也
- 5 傍聴者 なし
- 6 議 題 各施策の柱における課題の検討
- 7 会議内容 下記のとおり

### 司会（鈴木参事）

本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。それでは、ただいまから平成27年度第3回静岡市スポーツ推進審議会を開催いたします。

まず、お手元の資料を確認させていただきます。

次第、席次表、名簿、続いて議題の方ですけれども、事前にお送りしてある資料で、**資料1**「するスポーツ」の現状・課題、**資料2**スポーツツーリズムによるMICEの推進とスポーツ機会の創出、**資料3**ホームタウン活動の推進、続いて本日机の上に配らせていただきました資料ですが、**資料1-2**「するスポーツ」全意見整理表、**資料2差替え版**スポーツツーリズムによるMICEの推進とスポーツ機会の創出、よろしいでしょうか。

次に、毎回のことではございますが、議事に入る前に確認事項がございます。本審議会の会議録でございますが、静岡市のホームページにおいて公開をさせていただいております。この公開には、会長と委員1名に会議録確認の署名が必要となりますので、ご了承くださいませようよろしく申し上げます。

それでは、村越会長、議事進行をよろしくお願いいたします。

### 村越会長

まず、情報公開の件については、よろしいでしょうか。

本審議会では、会長のほかどなたかお一人の委員に、会議録への署名をお願いしています。今回は、鳴海委員にお願いしたいと思います。会議録ができましたら、後日、内容のご確認とご署名をよろしくお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、会議を始めるにあたり、本日の出席者の確認をしていただきたいと思います。事務

局、お願いします。

#### 事務局（本間主査）

本日、ご出席は15名中10名で、審議会開催に必要な定足数である半数以上を満たしております。村田委員については少し遅れるということで、ご連絡をいただいております。なお、欠席の青木委員、太田委員、片岡委員、熊谷委員、笹村委員からは、委任状をお受けしております。

#### 司会（鈴木参事）

このメンバーとなって、本日は3回目の審議会となります。恐れ入りますが、今年度初めての出席となります、山本委員に自己紹介をお願いしたいと思います。

#### 山本委員

<自己紹介>

#### 司会（鈴木参事）

ありがとうございました。

#### 村越会長

それではまず、次第の2報告ということで。前回、「観る」「する」「支える」のうち、「スポーツをする」についてワークショップを実施しました。その中で出た意見を事務局が取りまとめてくれたようですので、まずその内容を、事務局から説明願います。

#### 事務局（本間主査）

今日は皆さん、「静岡市スポーツ推進計画」の冊子、お持ちでしょうか。この冊子の16Pをお開きください。前回の審議会では、施策の柱のうち（3）と（4）、子どもの体力を向上させる機会の創出、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進、をテーマにワークショップ形式でお話をいただきました。子どもからお年寄りまで、何がスポーツ実施率向上の妨げになっているか、解決すべき課題は何か、ということで、様々なご意見が出ました。

本日追加でお配りした資料2-1をご覧ください。こちらが前回各グループから出た意見をそのまま整理し直したものです。鉛筆書きのメモなので文字が光ってかなり読み辛いですが、雰囲気ということでご了承ください。

前回、村田委員の方からスポーツをしない条件は4つに分類分けできるんじゃないか、ということでご紹介いただきまして、それを少し参考にして整理してあります。4つというのは個人的条件、社会的条件、スポーツそのものの条件、環境的条件の4つです。

①個人的条件とは本人の感覚による拒否感。例えば、面倒くさい、運動が苦手、時間が無い、と言った一番率直で根本的な理由です。この資料では一番左下の部分、赤字で「個人的理由」と囲ってある部分がそれにあたります。

それを取巻くように社会的理由というのがあると思うんですけども、②社会的条件とは、自分を取巻く社会状況による拒否感で、こちらでは親の意識と時代背景の二つに分けて整理してあります。前回、いただいたご意見の中に「子どもがスポーツをする・しない」は親の影響がすごく大きいよね、というご意見がありました。親がスポーツが嫌い、忙しくてできない、親子でスポーツする機会が無い、あと部活動で車の配車や親の協力が必要な部活は子どもにさせられない、

というような、子どもを取巻く社会として、一番身近な親のあり方が子供がスポーツをするネックになっているんじゃないかというご意見です。

続いてちょうど真ん中あたり「時代背景」とあります。これも子どもの話が多いんですが、今の時代スポーツ以外の娯楽の選択肢が多い、ゲームやインターネットなどインドアゲームに子どもが夢中で外遊びに興味が無い、知らない。仲間、場所、時間が社会の変化によって少ない、というご意見がありました。

③3つめの条件はスポーツそのものの条件ということで、やりたいスポーツがあるけど男性向けで女性では挑戦しづらいなどの理由ですが、前回の話し合いではそれに該当するものはありませんでした。

④4つめの環境的条件は自分の属する世代、居住地など環境による拒否感です。右側の真ん中あたり、学校とありますが、ここは学校関係のご意見です。まず、授業の体育に関しては体育の授業時間が減少しているということ、あと体育の授業を楽しんでいるとされているかどうか？というご意見がありました。

続いて、部活動に関してですが、最近では部活動の時間が制限されている、また運動部に属する児童・生徒の割合が下がっているという現状があるとのことでした。また、中学校の先生が忙しい中、部活動の指導をしているということで、先生方の負担が非常に大きい、また、専門の指導をできる指導者が居ないというご意見もありました。

続いて一番左上、「子育て世代への配慮」ということで、子育てに携わっている30～40代の女性のスポーツ実施率が低いですが、そういう方々も子どもを預けられる環境があればやりたいという気持ちはありますよ、というご意見がありました。

続いて、その右隣。「働き盛り世代への配慮」ということで、30～50代の男性のスポーツ実施率が低い。そもそもワークライフバランスが取れていなくて、仕事以外の時間が取れていないというご意見がありました。

続いて、その右隣。「指導者」ということで、保育園・幼稚園に運動・スポーツを指導できるような先生が居ない、子どもからお年寄りまで各世代に対応できる指導者、リーダーが必要ではないかというご意見がありました。また、運動・スポーツを継続する場合、一緒にやる仲間が居ることが大事だと思うんですが、既存の利用団体はメンバーが固定化していて、後から入りづらいよ、というような意見もありました。

最後に右上。「施設」ということで、運動ができる施設が足りていないですよ、というご意見。高齢者の場合、車を運転できない方も多いため、身近に施設があるか、交通手段をどうにかしないと難しいというご意見がありました。一方で、子ども達が自由に気軽に遊べる場所も少ないんじゃないかというご意見もありました。

続きまして、事前に郵送で送らせていただいた資料1をご覧ください。A4一枚の資料です。こちらはさきほどのA3の表のポイントをまとめたものです。1 現況、2 対応策、解決策 ということで、真ん中下あたりの2 対応策、解決策の方をご覧ください。前回の審議会では現況・課題を挙げていただいた後、それを解決するにはどうしたら良いだろうという対応策、解決策についてもご意見をいただきました。

まず、子どもに対しては、運動・スポーツの楽しさ・大切さは小さい頃から実感してもらうこ

とが大事であるということで、幼児のころから幼稚園などで運動を促していくこと、また、小中学校で行われている体育についても、運動・スポーツに対してマイナスイメージを与えすぎない、運動の面白さ、達成感を味わえる授業をする必要があるのではないか、というご意見がありました。

続いて、子どもを含む全世代に対しては、これはちょっとしたアイデアとして出たんですが、昔のように職場で運動会をやるのもいいんじゃないかということで、まず市からやってみたらどうかというような意見もありました。また、働き盛りの社会人は仕事で時間が無いのなら、職場で運動できる時間を短時間でも設けたらどうか、という意見がありました。また、運動・スポーツが大事ですよというPRを例えばエスパルスの選手とかプロスポーツの競技者など、注目度のある人間にやってもらうのはどうかというご意見。あと、インセンティブの設定。運動をしたら記録をつけて、ポイントを貯めたらこういうメリットがありますよというシステム造りをしたらどうか、というご意見もありました。

また、運動・スポーツの概念が人ごとにまちまちである、ということで。普段やっている家事や通勤・通学も内容によっては運動になりますよ、という運動の概念の整理とその周知が必要ではないかというご意見がありました。

これらいただいたご意見、アイデアに関しては、中長期的に取組む必要があるものもありますが、事業を見直すうえで参考にさせていただいて、関係機関と調整したり、自分達の事業に取り入れたりと、随時対応していきたいと考えております。説明は以上です。

**村越会長**

ありがとうございました。この件について、ご意見ご質問等ありますでしょうか。特に前回参加された方、プラスのコメントとか補足とか…。いかがですか。

**松下委員**

この中で、もうすでにある程度やっている行事もあるかと思うんですが、そのあたり教えていただければ…。

**事務局（鈴木参事）**

初心者スポーツ教室というのがありまして、今流行りのエアロビクスとかヨガとか地元の体育館を借りてやっている事業があります。子どもに対しての事業はうちではあまり無いかも知れませんが…。関心を持ってもらえるようなイベントをやっていかなければなど考えております。

**村越会長**

前回、こんなふうになんか意見が出ました。こうして施策の体系で整理して、どこが足りてないか、点検の一つの拠り所にしてもらえればと思います。

では、今日もワークショップということで、事務局の方から説明をお願いします。

**事務局（本間主査）**

前回、ワークショップ形式で色々なご意見を伺えたものですから、今回も同じ形式で進めさせていただきます。今回のテーマは「観る」「する」「支える」のうち、「観る」の部分です。お手持ちのスポーツ推進計画の16Pをお開きください。真ん中の施策の柱のうち、(1)(2)「観る」スポーツについて実施したいと考えております。(1)スポーツツーリズムによるMICEの推進とスポーツ機会の創出、(2)ホームタウン活動の推進 についてということで、今回はまず、担当係長からそれぞれの事業について10分ずつ説明をいただいた後、簡単に質疑応答。そ

の後、グループごとに分かれてワークショップで話し合いという流れでいきたいと思います。

今回は、委員の皆様を3，4人ずつ3つのグループに分けさせていただきました。席次表の名前の横に載っている①、②、③というのがそのグループです。

各事業の説明、質疑応答が終わった後、机を少し移動しまして、そのグループごと意見を出し合っていて、その結果を最後にグループの代表者に発表をしていただきたいと思います。模造紙と付箋を各グループにお分けしますので、自由に使ってご意見を整理していきましょう。

具体的な話し合いのテーマについては、また後で発表いたします。

#### 村越会長

今日も前回同様、ワークショップ形式で、ということですね。今回のテーマは「観る」です。前は「する」で、皆さん、スポーツされてるので自分の体験から意見を言いやすかったと思います。今回はツーリズムとホームタウンということで、今、どんな感じで進んでいるかという説明を最初にしていただいてから、話し合いということですね。

それではまず事業の説明があるということでもよろしいでしょうか。

#### 事務局（鈴木参事）

はい。それではまず、（1）スポーツツーリズムによるMICEの推進とスポーツ機会の創出について、担当係長である高須係長、よろしくお願いします。

#### 高須スポーツツーリズム推進係長

皆さん、こんにちは。スポーツツーリズム推進係長の高須と申します。よろしくお願いいたします。『スポーツツーリズムによるMICEの推進とスポーツ機会の創出』ということで、説明をさせていただきます。

これは、昨年4月に施行された、『スポーツの推進による健康で豊かな生活の実現』を基本理念とした『静岡市スポーツ推進計画』の施策の柱となっているものです。だれもが参加したくなるスポーツイベント等を誘致・開催することにより、市民スポーツをする意欲を高めるとともに、スポーツを通じた地域の活性化と国内外の人達との交流を深めることを目的にしています。それでは、推進計画のP18からP21の内容について、差し替えの資料を作成しましたのでご覧ください。

まず『スポーツツーリズム』という言葉の背景ですが、もともと長期休暇が制度化されている欧米で、このような仕組みが考えられ、1980年代以降、広がっていったと言われていました。また、国内では2011年に観光庁によって、『スポーツツーリズム推進基本方針』が示され、その中の方針の1つとして『スポーツツーリズム』を示しています。そして日本国内では、『2020年東京オリンピック・パラリンピック』の開催が決定してから、『スポーツツーリズム』という言葉をよく耳にするようになりました。

それでは資料の説明に入ります。『スポーツツーリズムとは何か?』ということですが、それは『スポーツ資源とツーリズム（観光旅行）との融合を図っていく取組み』と考えています。

まず、スポーツですが図に有るように、3つに分類されます。野球や、サッカーなどスタジアムやテレビ放送で観戦して楽しむ『観るスポーツ』、健康維持やレジャー等、参加して楽しむ『するスポーツ』、ボランティアや運営スタッフとして参加したり、交流しながら運営を補助して楽しむ『支える』スポーツです。

そして、それとは別に、観光要素を含む『旅行・ツーリズム』があります。これまでも、『スポーツ』と『旅行・観光』は、レジャーの中心として、多くの方々が楽しんできましたが、それぞれの分野で発展してきました。そのため、2つの分野を統合した市場や、産業、行政施策などはありませんでした。そこで、それらを一体で考え、合わせて、環境整備、MICEの推進など、総合的にまかなって、『豊かな旅行スタイルの創造』を目指すものと考えられています。

特に経済の部分では、オリンピック、サッカーW杯、ラグビーW杯のように全世界が注目するスポーツイベントの開催時に、開催国をはじめ、世界中から多くの訪問者が訪れ、交流人口が増加することで、それに伴い、大きな経済波及効果が生まれることに注目が集まっています。裏のページをご覧ください。

スポーツツーリズム推進による効果ですが、今までのスポーツを「する」以上に、『する、観る、支える』それぞれ、または、合わせた喜びを感じることができ、より一層のスポーツ振興が図れます。そして、その『する・観る・支える』のスポーツをすることにより、健康が増進し、結果的に、生涯スポーツが推進されます。

次に、スポーツ交流による地域の魅力が発信され、地域が活性化されることによりMICEの推進がより図れます。次に、地域の知名度が向上することによって、さらにシティプロモーション効果や、地域ブランドづくり、情報発信が期待できます。そして、地域コミュニティが活性化することにより、より強い地域の一体感の醸成が図れます。そして、一番の効果として考えられているのが、経済波及効果です。交流人口・滞在人口の増加による地域内の飲食・宿泊・物品の購入などで新たな消費の誘導、雇用の創出が期待できます。その他に国際交流の促進や、スポーツを始めるきっかけづくり、人材育成が期待できます。

次のページにいきまして『スポーツツーリズム』の推進ということで、静岡市の具体的な施策がこの4点になり、後ろのカッコ内がそれぞれの所管課が定めた目標となります。まず、1つ目として、国際大会や、全国大会を開催するための支援です。具体的には、全国規模のサッカー大会の開催支援で、毎年、8月に開催される『全国少年少女草サッカー大会』の支援を行っており、目標としては、継続支援となっています。同じく、全国大会ということで、3月に開催されている由比が発祥の地と言われている『全国少年少女スポーツチャンバラ選手権大会』の支援で、目標は、参加者数500人です。

2つ目として『ラグビーW杯2019』、『2020年東京オリンピック・パラリンピック』の開催に伴う合宿等の誘致で、目標は、合宿の誘致及び交流事業の開催です。3つ目として、だれもが参加したくなるスポーツイベントの開催で、7月に開催される清水マリーンフェスティバルです。目標は、来場者2,300人、静岡マラソンは、目標、参加者満足度80%です。最後に、自然環境を活かしたスポーツイベントの開催で、オクシズスポーツツーリズム促進事業、具体的には、トレイルレース in しずおかや、井川もみじマラソンの開催、目標は、交流人口の増、トランスジャパンアルプスレースの支援、目標は、継続実施となっています。

以上 スポーツツーリズムによるMICEの推進とスポーツ機会の創出ということで、説明させていただきました。

#### **村越会長**

はい。ありがとうございました。質問などあるかと思いますが、両方説明いただいてからと

ということでお願いします。では続いて「ホームタウン活動の推進」ということで、お願いします。

#### 司会（鈴木参事）

本日はシティプロモーション課、去年まではスポーツ振興課でしたが、ホームタウン推進系の秋山担当課長と望月哲也係長にお越しいただきました。それでは説明をお願いします。

#### 望月哲也ホームタウン推進係長

シティプロモーション課ホームタウン推進系の望月哲也と申します。「ホームタウン活動の推進」に係る事業、取組みについて、説明させていただきます。スポーツ推進計画 21 ページ、併せて、お配りしました資料 3 の 1 ページをご覧ください。

まず 1 つ目は、「サッカーを活かしたまちづくり」についてですが、サッカー大会の開催によるスポーツの振興や J リーグのホームゲームでのシティプロモーションなど、サッカーを活かしたまちづくりを推進しています。資料 3 の 1 ページをご覧ください。先ほど「スポーツツーリズムによる M I C E の推進」のところでも、説明がありましたが、昨年 8 月 14 日から 18 日までの 5 日間にわたって、第 29 回全国少年少女草サッカー大会が開催されました。この大会は全国どこからでも、どんなチームでも出場可能な大会で、勝っても負けても全てのチームが最終日まで試合が行われ、試合での技術的な向上はもちろんのこと、チームでの合宿という共同生活を通じて子どもたちは精神的にも大きく成長できる場となっています。参加チームは男子 256 チーム、女子 32 チームの計 288 チームで、市内小中学校のグラウンドなどで予選を戦い、決勝戦は I A I スタジアム日本平で行われます。毎年、高円宮妃殿下がお成りになられ、去年は、竜南小、蛇塚グラウンドなどで 3 試合を観戦されました。試合記録を中学生が、審判を高校生が、会場運営を地元育成会の保護者の皆さん担当する地域住民のボランティアに支えられた大会で、サッカーのまち静岡にしかできない、全国に誇ることができる大会となっています。2 ページ、3 ページに大会の結果と写真を付けさせていただいています。今年も、8 月 12 日（金）から 16 日（火）まで、第 30 回の記念大会が開催されます。

続きまして、スポーツ推進計画 22 ページをご覧ください。2 つ目、「野球を活かしたまちづくり」についてですが、プロ野球地元球団構想を見据えて、市民の野球熱の醸成を図ることができるイベントや、野球の普及と振興が図れる大会開催の支援をしています。昨年の市長選では、マニフェスト 2015 に「プロ野球の球団誘致を目指し、各種野球イベントを誘致します」と掲げ、世界レベルの芸術文化とともにスポーツを楽しむ機会をさらに拡大していくことを公約としました。これに基づきまして、今年度においては、昨年 11 月に 3 回目となるプロ野球 12 球団合同トライアウト、そして、日本では初開催となった第 5 回 A S I A 還暦軟式野球大会を誘致、開催することができました。4 ページをご覧ください。日本プロ野球 12 球団合同トライアウト in 静岡が 11 月 10 日に草薙球場にて開催されました。戦力外通告を受けた 47 名の選手が再契約を目指し真剣勝負を繰り広げ、平日開催にも関わらず市内外から 5,200 人の来場がありました。また、多くの関係者・報道機関・来場者等に静岡市を P R できたと同時に、静岡市民の野球熱の醸成と M I C E の推進が図られたと考えています。5 ページに記録写真、6 ページに平成 25 年度から 27 年度までの比較を付けてあります。来場者への聞き取り結果を見ますと、毎年、多くの方が、市外・県外から来場されています。今年のトライアウトについても、この秋に本市で 4 度目の開催ができるよう球界関係部署へ働きかけを行っているところです。来年度については、今年の 7 月

16日、17日の両日に第40回日米大学野球選手権大会の第4戦と第5戦を誘致することができました。チラシを付けさせてもらっていますが、3月には、楽天（東北楽天ゴールデンイーグルス）とオリックス（オリックスバファローズ）、中日（中日ドラゴンズ）とのオープン戦が10日、12日、13日と草薙球場で開催されます。また、4月1日には、静岡県と連携して誘致した日本ハム（北海道日本ハムファイターズ）とソフトバンク（福岡ソフトバンクホークス）の公式戦が開催されます。プロの技、スピード、そしてパワーを地元静岡で目の当たりにすることができる機会ですので、こちらもご期待いただきたければと思います。

続きまして、スポーツ推進計画22ページの下段をご覧ください。3つ目、「ホームタウンチームを活かしたまちづくり」についてですが、市民がチームに愛着や誇りを持つとともに、スポーツへの関心が高まるように、本市をホームタウンとする清水エスパルス、シャンソンVマジック、静岡甲女子ソフトボール部、清水第八プレアデス（女子サッカー）などと協働した事業を展開しています。

7ページをご覧ください。フォッサ・サッカーのまち市民協議会の1月末までの事業報告書です。この協議会は、ホームタウンチームを活かしたまちづくりを推進するに当たり、清水エスパルスをはじめとする各種スポーツホームタウンチームなどを組織的に支援することにより、本市の生活文化の向上に寄与することを目的として活動していて、商工会議所、サッカー協会、自治会連合会、(株)エスパルス、行政など様々な団体で構成されています。

ホームタウンチームPR事業として、各ホームタウンチームの啓発品を作成したり、シャンソンVマジックによるバスケットボールクリニックやエスパルスによるサッカー教室も行いました。次のページをご覧ください。サッカー日本代表応援事業として、なでしこジャパンの応援展示を行いました。9ページをご覧ください。オレンジ化推進事業として、エスパルスオレンジバナーの修繕やエスパルスへの応援を呼びかける横断幕を市役所に設置をしました。また、1月29日から、JR静岡駅北口広場横にあります「しずチカ情報ポケット」と「大型パネル」にエスパルスの2016シーズン開幕応援展示を行っています。次のページをご覧ください。清水魚町稲荷神社で行われました2016シーズン必勝祈願への協力も行いました。天候が若干、気になるところではありますが、今週末の2月20日（土）、静岡庁舎前の青葉イベント広場で、J1昇格に向けリスタートを切る清水エスパルスの2016シーズン開幕を盛り上げるために、静岡市役所前のイベント広場で「オレンジスポーツフィールド2016」を開催します。

続きまして、清水エスパルスについてですが、J2降格は残念ですが、小林新監督のもと、チームを立て直し、必ずや1年で、J1復帰を果たしてもらいたいと思っています。資料に、2016シーズンのエスパルスの選手の一覧、スケジュールの載ったチラシを付けさせてもらっています。それから、エスパルスを応援するため、原動機付自転車のデザインナンバープレートを、3月から交付します。ナンバープレートは、Jリーグにちなんで、記号は「J」からスタートします。数字部分と組み合わせて「J1」となります。このプレートを目にする市民のみなさんや選手達は、エスパルスの戦う舞台はJ1なんだということを再認識することとなり、市民選手一丸となってJ1復帰を目指す大きな力になるものと思います。また、2月22日の市議会本会議で、議員（47名）のほか、市長をはじめ当局出席者（約35名）もエスパルスのユニホームを着用し、本会議場をオレンジ色に染め、応援機運を盛り上げます。そのほか、「しぞーかふるさと応援寄附金」の体験型お礼品に、観戦チケットを取り入れたり、エスパルスのユニホームに、ホームタウン名



「SHIZUOKA」を、8月の試合から付けてもらい、ホームタウン静岡のPRをしてもらいました。2月28日から始まる2016シーズンは、清水エスパルスにとっては、初めての試練となりますが、皆さんにも、今年以上にアイスタ（IAIスタジアム日本平）へお出掛けいただき、これまで以上の声援を、選手、監督、チームスタッフに送っていただけるようお願いしたいと思います。以上、「ホームタウン活動の推進」に関する事業の説明となります。

**村越会長**

ありがとうございました。ツーリズムとホームタウン活動について、続けて説明していただきました。何か、ご質問等ありますでしょうか。

**松崎委員**

ツーリズムの資料、最後のページ、取組と目標について。清水マリーナフェスティバルというのがありますが来場者数2,300人。こちら、開催の日数がどれくらいなのか？具体的にはどういうことをやるのか？を教えてくださいたいです。

**高須スポーツツーリズム推進係長**

はい。毎年7月の海の日近辺の日曜日に開催しています。具体的には清水港の日の出埠頭の周辺を使いまして、旧清水市の時代からやっていますレガッタレースを開催しています。レガッタレースをメインに、ヨット協会の方々にご協力いただき、ヨットの体験乗船を行っています。一艇を漕ぐのに15人から20人ほど必要なものですから、選手は約300名ほど集まっています。期間はその一日だけですけども、近くにある東海大ですとか、清水の港の近くの団体が多いんですが、色々なチームが集りレースをやって1日楽しむというイベントになっています。

**松崎委員**

ということは、ほぼ市内ということでしょうか？

**高須スポーツツーリズム係長**

そうですね。広く募集はさせているんですけども、船体自体を市で保管しているものですから、気軽に「じゃあ、今日、みんなで集まって漕ごうよ」というようにはできない状況です。1ヶ月くらい前から練習日を設けて、その日に練習をしたうえで当日参加していただく形式であること、また、一人で気軽に参加というのができないものから、そのあたりがネックになっています。

実際には山梨県から参加してくれているチームがあります。残念ながら今は市内中心です。

**松崎委員**

ありがとうございます。

**村越会長**

他はいかがでしょうか？では私の方から。ツーリズムでもホームタウンでもどちらでも良いんですけども。正直、こんなに色んなこと、がんばってやってらっしゃるんだという印象です。私もニュースとかあまり見ない方なので、よく知らなかったです。今聞いて、すごいと思うんですが、新聞報道とかテレビの報道はどれくらい行われているのか？それが一点。

次に、やはりこういうのを拡散するうえで、SNSって無視できないと思うんです、今。その辺のことはやられているのかどうか、教えてください。

#### 望月哲也ホームタウン推進係長

ではホームタウンの方から。我々がやる事業については報道資料ということで、市政クラブの方に投げ込みをして「取材に来てください」というお願いをしています。それからエスパルスさんで行う事業については、エスパルスのホームページでもエスパルス側からプレスリリースということで情報発信していただいています。結果についても同様です。

SNSの話については、これからはやらなければいけないということで、今年トライアウトの情報について、フェイスブックで情報を発信するという取組みを行いました。

#### 高須スポーツツーリズム係長

ホームタウンと同じように、報道資料については市政クラブを通じて、積極的に投げ込みを行っております。それ以外でも、静岡マラソンについては静岡朝日テレビと一緒に実行委員会を立ち上げていますので、テレビの報道を含め、HPですとか一般的に考えられている媒体については全て情報提供されています。

マリンフェスティバルについては規模が小さいものですから、実行委員会として周知を進めていかないとねという話が出ています。あと、ラグビーワールドカップ、オリンピック、パラリンピックの合宿誘致については、積極的にやっていきたいところではあるんですけども、静岡市として特定の国だとか、競技が決まっていらないものですから、今はまだ無いです。ただ、11月から12月にかけて、台湾のバドミントン代表チームがリオオリンピックと東京オリンピックを見据えたジュニア層を連れてきてくれまして、市内の「このはなアリーナ」と中央体育館にキャンプを張りました。そちらについてはフェイスブック等で情報提供を行いました。

#### 村越会長

積極的に働きかけているというのは理解できたので、ぜひ、ではどれくらい載ったのか、と。いくつかのイベントに対して総何件。そういうのは次の改訂に向けて、効果測定資料の一つかなと思います。ぜひそういうところも伝えられたらなと思います。

他はいかがでしょうか。では今日はワークショップということで、これから約50分くらい時間をとってということですので、そちらに移っていききたいと思います。では、事務局の方からテーマの発表を。

#### 事務局（本間主査）

テーマですが、二つあります。まず、ツーリズム関係は「いかに人を市外から集めるか」。観光客、観戦客、市外から市内に人を集める方策、アイデア。それがまず一つ。二つ目がホームタウン関係で「ホームタウンチームに対する関心をいかに高めるか、ホームタウンチームをいかに活用するか」。テーマについてはホワイトボードに書かせていただきますが、その二つをテーマにお話し合いいただきたいと思います。時間ですが、4時40分までお話し合いいただきたいので、約45分。テーマは二つですが、グループによって得意分野も違うと思いますので、時間配分はグループにお任せします。

#### 村越会長

ありがとうございます。もう一度確認します。ツーリズム関係としては「市外からいかに人を呼ぶか」。ホームタウンに関しては、いろんなチームと関わっている中で、「チームへの関心をいかに高められるか」。時間配分はそれぞれのグループにおまかせということで、およそ40分強。

では、それぞれのテーブルで事務局の方も入られるようですので、わからない点については聞いていただければ良いと思います。では、席を移動して…。

### < 3グループに分かれて話し合い >

#### 事務局（本間主査）

では時間になりましたので、話し合いは終了して、グループごと、代表者の方に話し合いの内容をご報告いただきたいと思います。ではグループ①からお願いします。

#### 鳴海委員

グループ①の報告をします。まず、みんなにどう伝えていくかというのが大事という話が出ました。特に、情報をキャッチする力が弱い人達にどう伝えるか。例えば「回覧板だとよく見るよ」という年代の方とか。イベントをやった後、口コミがうまく広がるよう、一回一回のイベントを楽しく終わらせるなど、そういうところを大事にしていっていいのではないかという意見が出ました。

他に、人を呼ぶ時のアクセスや宿泊の情報の発信です。来ていただいて宿泊ができれば泊まってもらえますので、そのあたりの対応も考えたいです。シャトルバスなども活用できるといいなというのがあって、それを行うにあたってバックアップしてもらえる企業があれば、充実していくのではないかという意見が出ました。

草サッカー大会がすごく広がっていったのは、子どもがボランティアで活躍したり「日本で一つだけ」という価値があったりして、そのアピールが上手にされているからだと思います。「オンリーワン」に日本人は弱いですから、そういうところが他のイベントについてもうまくできれば、広まっていくのかなと思います。

ホームタウンの方についてですが、小学校でシャンソンとエスパルスのドリーム教室を受けました。キャリア教育でコーチの話を聞いて、とても良かったです。ただ、職場で少し話題になったのですが、子どもにとって選手はやはり憧れの存在にしたいです。その教室が終わったら「あの選手かっこいい！すごい！応援したい！観に行ってみたい！」というのがスタートになることが大事だなと思いました。この教室は学校から、こういう授業形式でとお願いしたのだと思うのですが、それだけだともったいなくて、選手に申し訳ないです。バスケットもサッカーもソフトボールも授業でやっていくので、例えばその授業の入り口として来ていただいて、1時間2時間を楽しく選手と「触れ合う」ことを主にすれば、子ども達は「さすがだな」とか「もっとやってみたいな」とか「試合を見に行ってみたい」とい気持ちになるのではないのでしょうか。これらの事業内容をさらにステップアップしてもらうのも良いなと思いました。

選手の情報なども詳しくテレビやホームページに出てもらうんのですが、もっと身近なところで出してもらえると良いなと思います。特にエスパルスは大変な立場ですが、みんなで何とかしていこうと盛り上げているということで、今年が本当に良いチャンスだと思うので、このピンチをチャンスに変えていけたら良いなという意見も出ました。以上です。

#### 村越会長

一言だけ補足です。鳴海さんは大分オブラートにくるんで言ってくださいましたが、ホームタウンの選手活用事業については「今よりもっと選手の魅力がストレートに出るような形が、学

校にとっても子どもにとっても有効です」ということが言いたかったんですね。

#### 鳴海委員

そうですね。今のままでは選手の方に申し訳ないという風に思いました。以上です。

#### 事務局（本間主査）

では、グループ②をお願いします。

#### 村田委員

ではグループ②の発表をさせていただきます。最初にお伝えしないといけないのが、2つやらなければいけないところを、ツーリズムの方がすごく盛り上がってしまってこちらがとても充実したので…この中にホームタウンのことも含まれていると思いますので、その点、ご了解いただきたいと思います。初めに委員の皆さんにそれぞれ意見を出していただいて、似たようなものをカテゴリー分けして、表を作ってみました。

まず、一つ目のツーリズム。市外から静岡市に来てもらうということを考えて時に、外の人間が市と交わるということがすごく大事だな、と。ではどういう人をターゲットにしたら良いのか？結構戦略的にやっても良いのではないかという意見があって、具体的に言うと、できればお金を落として欲しいし、イベントだけでなく違う魅力も見て欲しいし、市外だけでなく県外とか海外とかからも来て欲しい、そういうふうにしても良いのではないかな、という意見が出ました。あと、お金を時間もたくさん持っているシルバー世代の人。そういう考えがあっても良いんじゃないかな、と。シルバー世代、海外、県外とありますけど、そういう人達のニーズ把握というのをどこがするのか、詰めきれてませんけれどもそういうターゲットを考えるということも必要なのではないかという意見が出ました。

市外の人と市がぶつかっていくために、どんなイベントしようかという時に、重要なのが興味をひく、いわゆる魅力あるイベントをやるということですね。具体的にはどうするかと言うと、イベントに景品を付ける、例えば名古屋（ウィメンズマラソン）ではティファニー・・・有名な企業とコラボしてやっても良いですし、静岡でしか食べられないものとのコラボ、地産地消。あとマニアックというのもあるんですけど、これ聞いててすごく面白いなと思ったのが、静岡市っておもちゃで有名なプラモデルの会社が3つも4つもあるということで、そういうのとタイアップしたりだとか、附加価値が大事だねという話が出ました。ターゲットが若い女性の場合には、若い女性が集まるような内容にする。あと全国大会、世界大会も県外、海外からお客さんをお呼ぶ時に大事で、いわゆるフォーマルな種目、野球とかサッカーとかバスケットとかだけでなく、たまにニュースとかでやってる、奥さんを持ち上げて山を駆け上がるような色んなニューススポーツというような、そういうマニアックな世界大会というのも面白いんじゃないかと。こんな面白いイベントがあるんだということを私も含めて、今日知って、それがなかなか伝わらないのは、良いのがあるけど目的に届いていないので、その前の周知の工夫をするべきだということで、村越先生のお話にもあったSNSの話題が出てきたりしました。

市外の人が市にぶつかるために色々なイベントをしていくのに、組織の確立というのは重要で、よく言われるスポーツコミッションというものも考えたいけど、これも横並びになったらだめで、大都市だとか圧倒的な自然を持っている沖縄だとか北海道は、こういうのもやりやすいでしょうけど、静岡市としてやるんだったら、もうちょっと工夫が必要だよ、単なる譲り受けだけでは

危険だよという話になりました。総じて、こうした組織やイベントを作っていくために改めて静岡市の施設だとか、人だとか、自然だとか、資源を改めて探索していく必要があるよね、という話になりました。以上です。

#### 事務局（本間主査）

ではグループ③、お願いします。

#### 池谷委員

池谷です。話を随分したんですけど、書くのを忘れてまして、あまり書けてないです。一つ目のツーリズムの方ですが、官と民の連携を模索すればもう少し成果が上がるのかな、と。予算とかテリトリーとかあると思うので、なかなかうまくいかないと思うんですけども。民間ともう少し探り合いすれば、活動の場とか範囲が広がるんじゃないかなと思いました。それとスポーツ資源はどこにあって、何なのか、特定が必要じゃないかなと思いました。駿河湾があって、南アルプスがあって、東海道があって、スポーツ団体があって、そういうものを特定したうえで細かく詰めていく、作業があっても良いのかなと思いました。

あと僕は詳しくないですけども、スポーツコミッションという言葉がありまして、組織、仕掛け人だと思うんですけども、物事を進めていく上でそういう組織の利用というものが良いんじゃないかとそういう意見も出ました。市内のウォーキング、ランニング、サイクリングマップをホームページで紹介したり、観光、名産品と絡めて作成したらどうでしょうかという意見が出ました。

あと課題ですが、施設の問題が大きくて、あまり大きな大会が開けないというご意見があって、これは予算の関係もあって難しいと思うんですけども、工夫が必要かなと思いました。先ほども出ましたけれども、にんじん作戦。静岡マラソンなどの参加者へ静岡の特産品を送ったり、千番とか500番とか番号を指定して特産品を贈るとかも良いんじゃないかという話が出ました。

続いて二つ目のホームタウンについては、エスパルスの話で耳が痛かったです。まず、そこはちょっと離れて、セントラル方式（試合の開催地を一箇所に定め、全ての試合を行うこと。対義語：ホームアンドアウェー）で行われる大会と、ホームタウンで行われる大会があって、ソフトボールだとセントラル方式で試合が行われていて静岡は外れてしまう。ホームタウンでやってもらえるようなことができないかな、と。これは協会の絡みもあって、いろいろと難しいかと思うんですが。

あとは、裾野を広くする。トップチームだけでなく、地元の高校のチームを応援する機会が増えたら裾野が広がって、トップチームを応援する人も増えるんじゃないかなと。

エスパルス絡みの話でいくと、ホームタウンチームが強くないとどうしようもない。スター選手が出てこないとどうしようもない。プロ野球はスター選手がたくさん出ていますし、サッカーも世界レベルだとスター選手はたくさん居るんですけども、国内だと誰だろう？という段階なので厳しいなあと。

あと選手との距離を縮めることが必要んじゃないかという意見がありまして、例えば、選手の間接教育に関係するんですけども、ただかかサッカーはプロができて20年で、プロってどういふもんかというのがわかっていないと思います。ヨーロッパは百年歴史がありますので、あと50年くらいしないとわからないのかな、待つ必要があるかな、と。少なくともメディアでの発言

とか、そこから見える人柄、そういうものはちゃんと整えていかないといけないのかなと思います。内部的にこれがちゃんとやれば良いんですけど、サポーターの力とか、周りの方の発言とか、クラブの中にどんどん入ってくるとどんどん変わらざるを得ないのかなと思います。そんなところです。

**村越会長**

はい、ありがとうございました。事務局の方で何か付け加えることはありますか？

**事務局（本間主査）**

今日、お話しいただいたご意見につきましては、まとめてまた次回報告させていただきたいと思います。次回の審議会の日程ですが、少し間が空いてしまうんですが、5月か6月くらいに第4回目の審議会の開催を考えています。日程が決まり次第、開催通知を送らせていただきますので、よろしくをお願いします。

**村越会長**

今日、本当に色々な意見が出ました。また、まとめていただいて、来年度、再来年度、反映していけると良いと思います。他に何か、委員の皆さんからでも、何かありますでしょうか。

**笹本委員**

今月の27日に草薙体育館でチャレンジスポーツラリーというイベントを、静岡市スポーツ推進委員連絡協議会でやります。種目が12種目くらいあって、ニュースポーツをやるので、またお時間があったら、朝9時から夕方3時までやりますのでいらして下さい。以上です。

**村越会長**

はい、ありがとうございました。他にありますでしょうか。では議事の方は全て終了しましたので、議長の職を解かせていただきます。ありがとうございました。

**司会（鈴木参事）**

会長、どうもありがとうございました。長時間に渡り、色々のご意見をいただきまして、ありがとうございます。皆様のご意見を事業に活かしていきたいと思います。

本日は長い間、どうもありがとうございました。